

青谷かみじち史跡公園

重要文化財展示室展示資料

令和7年7月29日～令和7年11月24日

新たな展示品（主なもの）

だいつきつぽ
台付壺

弥生時代後期（紀元1世紀～2世紀頃）



クワ属の木をくり抜いて作った木製の台付壺とその蓋。壺はそろばん玉のように胴部が外側へ張り出す。蓋にはつまみや突起状の装飾が作り出されている。弥生時代の高度な木工技術を示す優品。

つぽ
サメが描かれた壺

弥生時代中期後葉（紀元前1世紀頃）



壺形土器にサメと思われる絵が描かれている。サメの絵は全国的にはあまり例がなく、海との関わりを示す青谷上寺地遺跡ならではの画題。

かせん
貨泉

弥生時代後期前葉（紀元1世紀）



古代中国新王朝で鑄造された青銅製の貨幣。「貨泉」の文字が見える。日本海を通じた交易活動を示す資料。